

## 東北大学関東良陵同窓会

### 関東連合会定期総会開催

平成二十年度、関東連合会定期総会は、平成二十年九月二十日(土)午後四時三十分より市ヶ谷私学会館アルカディア四階会議場にて、約五十名の会員が参加して、左記の式次第で行われた。

- 一、開会の辞
- 二、物故会員への黙祷
- 三、関東良陵同窓会会長挨拶 高橋俊雄会長
- 四、経過報告 新田澄郎幹事長 根本 宏副幹事長
- 五、会則の改正について 高橋俊雄会長
- 六、各部会報告・庶務担当 根本 宏副幹事長
- 七、会計報告 岩瀬 光常任幹事
- 八、開会の辞

特別講演 演題「数奇な運命と音楽の神秘」

根本 宏先生(昭和四十一年卒)

懇親会 司会 岩瀬 光先生

アフターディナーコンサート

出演 240ヴァイブレーション

各会員近況報告

閉会の辞

平成二十年度関東定期総会は、平成二十年九月二十日、東京・市ヶ谷私学会館アルカディアで開催され、今回は約五十名の参加者があった。

午後四時三十分、会長挨拶について総会議事に入り、最初に五十年ぶりの会則改正について役員会原案についての審議が行われた。改正の主な骨子は、これまで総会は春は東京で、秋は各地で年二回開催されていたが、春の総会はこれまで通り東京で開催し、秋総会は各支部の要望がある場合は開催することが出来るとした。

また、本会の事業として総会開催の他、名簿の発行、関東良陵だよりの発行、ホームページの作成、更新、維持を加えた。

その他、役員、会長の選出法、任期について新たに定めた。

この役員会案は本総会で満場一致で承認された。次に会計報告、各委員報告があり、総会は午後五時終了した。

引き続き、根本 宏先生(昭和四十一年卒)の特別講演、「数奇な運命と音楽の神秘」と題して講演が行われた。根本先生は、先の第二次大戦の東京大空襲で大腿骨折頸部骨折、天涯孤独の孤児となり、浮浪児、孤児院、質屋の小僧など死線をさまようことを四度経験した。(次ページに続く)

艱難辛苦、忍耐、努力を重ね、小石川高校夜間部に進み、昼はアルバイトをしながら勉学、受験勉強に励み、東北大学医学部に入學した。この間、クラシック音楽に触れ、この音楽の神秘が彼を勇気づけ、苦難克服のエネルギの基となった。この間のことは、ノンフィクション作家石村博子が「生きる力抱きしめて」―孤児だった医師・宏の青春―(毎日新聞社刊)に一冊の単行本になり、教育推薦図書となっている。

本特別講演は、会員に多大の感銘を与え、大きな拍手が鳴りやまなかつた。

特別講演の後には、ヴァイオリン、ギター、ピアノ三重奏240ヴァイブレーションによるクラシックから演歌まで我々にも馴染み深い演奏を楽しんだ。

その後、懇親会に移り、例年とは異なり、若い参加者から始める近況報告を行い、沢山の会員から、近況、最新情報などの報告があり、これまでにない盛り上がりを見せた。

(文責 会長 高橋俊雄)

## 良陵同窓会関東連合会会則変更 (案)

改正案 (ゴシック・下線部分) 平成 20 年 9 月 20 日改正

第 1 条 変更なし

第 2 条 ..... 事務所

を東京支部におく。

第 3 条 本会は東北大学良陵同窓会と連携を密にすると共に、会員の情報交換、相互扶助、親睦などを行い学識の向上を図ることを目的とする。

第 4 条 1. 毎年総会を開く、春季総会は毎年 1 回東京で開催する。各支部の要望がある場合は、秋季総会を開くことができる。その際、次期秋季総会開催地は総会で決定する。

2. 会員の名簿発行

3. 関東良陵だよりの発行

4. 本会のホームページの作成、更新、維持。

5. その他、本会の必要と認めた事項。

第 5 条 本会には役員をおき、主に東京支部の役員がこれを兼ねる。役員の選出は会員及び役員が推薦し、総会で決定する。役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 6 条 会長は役員の互選によって選出し、総会で決定する。任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 7 条 現行第 6 条 変更なし

第 8 条 現行第 7 条 変更なし

付則 1. 変更なし

2. 本会の事務所は下記におく。

〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本 2-2-1-704

T e l & F a x 0 4 6 7 ( 4 5 ) 0 2 8 7



写真上は、平成二〇年度関東良陵同窓会定期総会に出席の先生方  
写真左は講演する根本 宏先生



## 特別講演

数奇な運命と音楽の神秘

根本 宏先生

(昭和四一年卒)

今回は、首題のテーマで根本

宏先生が特別講演を行いました。

先生の異色とも言える話の内

容は、出席会員の涙を誘うほど

の迫力のある講演となりました。

根本先生は孤児として、かつ、

東京大空襲で受けた右大腿部の

損傷という二重苦の十字架を背

負い、それでもアルバイトをし

ながら猛烈に勉学に励み、本学

の医学部に入学しました。

本学では、第一外科(消化器)

同学教室に入局して学位を取得

されております。

幼い時には、親戚の家や、孤

児院を遍歴して、人生の苦勞の

辛酸をなめてこられました。

父君が開業医であったことか

ら、自らも苦難の中で医師にな

ることを志して、不屈の精神で

それを貫きとおした体験談は

聞き手を感動させずにはおきま

せんでした。本学では、今は無

くなった医学部寮の昭和舎に入

り、先輩、後輩の学友の皆さん

と暖かい交流をして、本学と昭

和舎は自分の故郷であり、今で

は良陵会が、その故郷への架け

橋になっているとのこと。

生活が苦しいなかでも、クラ

シック音楽への情熱は冷めず、

自らヴァイオリンをたしなみ一

度は音楽で身を立てようかと思

ったこともあるとか。

昭和舎入寮の面接のときにヴ

ァイオリンを持つてのぞみ、当

時の寮長や、先輩諸氏を「この

ような人は初めて」と驚かせた

逸話の持ち主でもあります。

その苦学時代にクラシック音

楽に親しみましたが、音楽が右

脳の働きを活発化させて、頭脳

を明晰にする神秘的な効果があ

ることに気づきました。

先生は、何よりも人と人との

出会いとお付き合いを大切にさ

れており、講演では自分を助け

てくれたいくつかの信条を披露

されました。①努力すれば必ず

光明を見いだせます。②苦しみ

の後には必ず楽があります。③

悲しみの後には真の喜びが待つ

ています。④常に笑顔を絶やさ

ないこと。⑤常に人を愛するこ

と。⑥どのような困難にでも耐

えることが出来る人こそ、真に

偉大な人間になる可能性があり

ます。これらはその抜粋ですが、

いま富裕な環境のなかで自らの

信念を失うような次代の青少年

にぜひとも聞かせたいと思わせ

る、花も実もある貴重な体験談

であり、出席の会員諸先生に同

感の声があがりました。

\*根本 宏先生の詳しい体験談は、

「生きる力抱きしめて」石村博子著・

毎日新聞社刊にて、単行本となってい

ます。

平成二十年関東良陵同窓会女医部会は、平成二十年七月二十六日(土)、午後五時から例年のようにF M Jet Stream 十一階で開催されました。

講演は鈴木尚子先生(昭六一年・東北大学卒・東大産婦人科に入局・現在東京都老人医療センター勤務)にお願ひしました。講演の内容は、「POP」

(Pelvic organ prolapse 骨盤臓器脱) について丁寧な治療法、今後の予防等のお話をいただいた。女性なら誰しもが経験するであろう骨盤臓器の異常を何年にも亘って治療されてこられた豊富なご経験をともに、子宮脱、膀胱癌、直腸癌、小腸癌、直腸脱、その他について明確に解説され、参加された女医さん方は、専門外でしたので、学生に戻った気分で講義を拝聴しました。出席の神津先生から意義のある会だ、継続して下さいとお話がありました。(田中記)

## アフターテイナー

### コンサート♪♪♪

異色の演奏に酔う!

今回アトラクションのコンサートは、テーマを「クラシックから演歌まで」と銘打って、ヴァイオリン栗田文子、ギターTATSU, ピアノ菅野千春の三人編成のバンド「240ヴァイブレーション」が出演しました。バンドの名称は、ヴァイオリンが4本の弦、ギター6本の弦、ピアノ230本の弦があり、そのストリングス合計が240本になることで名付けられました。これまでのアーチストには、ヴァイオリンとピアノ、または声楽者とピアノ等オーソドックスなスタイルで主にクラシック音楽の演奏を披露していただきましたが、今回は異色の組み合わせで、ギターが加わりました。しかも、クラシックから演歌までという曲目の幅の広さでした。はたして、これがどのような演奏になるのか、上手くいのか心配でした。

このバンドの披露は本会では初めての試みでしたので、心配もありました。

### 見事なアンサンブル

ところが、実際に演奏が始まると、それが杞憂であることがすぐに分かりました。

ギターが加わったことと、演奏者三人の息のあった見事なアンサンブルで、これまでの演奏とは異なるギターの効果をまざまざと見せつけられたのでした。

実に良くまとまりのある演奏で、今までにない情感を表現してくださったのでした。



写真右息の合ったすてきなアンサンブルを披露するアーチストたち

曲目は、モーツアルトのメヌエットに始まり、エルガーの愛の挨拶、タイスの瞑想曲、モンテイのチャルダッシ、懐かしいヒット曲、テネシーワルツ、オーバーザレインボウ、君といつまでも、北の宿から、北酒場と皆さんが良く耳にする旋律を選び優雅な演奏で聴衆の心をとらえました。食事をしながら、先生方は談笑をし、親しみやすく気軽に聴けるバックグラウンドミュージックとして、会場の雰囲気在大いに盛りたてました。大きな拍手が鳴りやまない名演奏でした。(根本記)

#### 会費納入のお願い

今年度会費三千円を同封の振替用紙にてご納入ください。

東北大学良陵同窓会

関東連合会東京支部

〒247-0072

神奈川県鎌倉市岡本

二・二一・一七〇四

TEL & FAX

〇四六七(四五)〇二八七